

南アルプス市 平成 24 年度 事務事業マネジメントシート
(兼) 予算編成資料・実施計画資料 作成日 H 25 年 3 月 22 日作成

事務事業名	ブルーベリー体験農園維持管理事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6083		
			所属課室	農林振興課		課長名	築野剛司		
	☐ 実施計画事業		所属担当	農業振興担当		担当者名	保坂 久		
基本政策	基本計画体系	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	
政 策	07	農林水産業の振興	事業区分	01	一般	06	01	03	
施策	13	農産物のブランド化と販路の拡大							
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度)			法令根拠	元気な地域づくり交付金実施要領				
事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載				事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)					
事務事業の概要	ブルーベリーによる体験農園場の整備・維持管理事業。ループ橋付近に7か所17000平米、1115本、育成中の苗が植栽されている。ネットがかけられて、スプリンクラーが設置されている状態にある。H19年度に、地域住民による観光農園のモデル事業として国費事業で整備後、管理不足により生育不足もあり、管理委託のみ行なっている。H24年度は、生育が進み十分な収量が見込めるため、体験農園の営業実験を行い、収益性を検証する。今後、検証結果を基に実施体を設立し、独立営業に持ち込む。土地は民間の所有で、市が有機体管理を委託している。25年度初年度使用		項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)						
			消耗品費 39 その他負担金 207						
			修繕費 42						
			その他委託料 490						
			使用料 117						
			その他工事請負費 829 計 1,724						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	収益性検証のため、体験農園の試験営業 地権者協議による実施体設立
25年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
植えたブルーベリーの苗 曲輪田新田周辺地域(8筆)	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
観光農園になる 大きくなって、収穫できるようになる 耕作放棄地にならない	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けられるのか)	
観光農業という新産業が開発される 訪問する人が増える	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア:事業面積	ha
イ:圃場数	箇所
ウ:筆数	筆
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア:地権者数	人
イ:ブルーベリーの本数	本
ウ:	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア:曲輪田新田周辺地域(8筆)ノ耕作放棄地面積	%
イ:体験入場者数	人
ウ:	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア:開発された新産業	件
イ:入込客数	人

(2) 事業費・指標の推移				単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			一般財源	千円	697	1,724	1,301	1,300	1,300			
			事業費計 (A)	千円	697	1,724	1,301	1,300	1,300	0	0	
	人件費	正規職員従事人数		人	1	2	2	2				
		延べ業務時間		時間	30	100	10	10				
		人件費計 (B)		千円	119	396	40	40	0	0	0	
		(A)+(B)		千円	816	2,120	1,341	1,340	1,300	0	0	
活動指標		ア	ha	1.7	7.0	10.0	10.0					
		イ	箇所	7.0	7.0	10.0	10.0					
		ウ	筆	8.0	8.0	12.0	12.0					
対象指標		ア	人	6.0	6.0	9.0	9.0					
		イ	本	1,200.0	1,200.0	1,500.0	1,500.0					
		ウ										
成果指標		ア	%	0.7	0.7	1.0	1.0					
		イ	人	200.0	200.0	500.0	1,000.0					
		ウ										
上位成果指標		ア	件	0.0	1.0	1.0	1.0					
		イ	人	47,000.0	48,000.0	49,000.0	50,000.0					

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成18年度に新山村振興事業で整備した土地が、耕作放棄地化した。国の事業で、耕作放棄地にするわけにはいかなかった。「南アルプス地域ブランド」の調査において、ブルーベリーが提案
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	ブルーベリー園での観光農園を計画しているが、ブルーベリーの生育状況が悪い。NPO法人が20年度? 管理を委託し始めた。北杜市にはブルーベリーの観光農園がある。土壌改良の生育状況は、伸びている。農家の高齢化
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	委託事業者から「ブルーベリーに適さない土質であり、土壌改良が必要だ」と言われている。地権者から「ありがたい」といった意見がある。地権者から「農園になったらお金をくれ」といった意見がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☐ 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	土地は無償の貸借で民間から借用しているが、市の直接管理は出来ないため、果樹作りの専門的な知識を有するNPO法人に管理育成の委託を実施した
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	簡水施設の修繕や、土壌改良など、早期の観光農園が出来るように改善を行っている

事務事業名	ブルーベリー体験農園維持管理事業	所属部	農林商工部	所属課	農林振興課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 観光農業や南アルプスブランドの確立は、施策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 施策を実現するためには公共主導で関係者と協力しながら進める必要性が高い。基幹産業育成のため、観光農園にするという目的は妥当。一部の耕作放棄地の放棄への対応は市としての責務。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 ブルーベリーにターゲットを絞った施策であり妥当である。国の補助事業によるため、事業の目的を見直すことは目的外使用となり、補助金の返還となる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由↓】 入場者数は管理受託者が自助努力で107人の入園者と呼び込んだが、ブルーベリーの育成状況が悪く、もぎ取り園として機能していないため0%という状況である。土壌改良や育成に対して向上余地があるが、時間を要する。所有者の営農意欲が低い。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☐ 休止・廃止ができる ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 農業の生産性を高めるために区画整理まで行ったのに、事業の中止で遊休農地に戻る。国の補助金を活用しているため補助金返還が伴うだけでなく、これまでの投資が無駄になり新たな観光産業の確立というこれからの農業の指針を失う
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由↓】 ブルーベリーの育成が進み、入園料をいただけるようなもぎ取り体験農園が可能になった場合、民間が事業主体となることで事業費は削減できる
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方を見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由↓】 もぎ取り体験農園が可能になった場合、事業主体を市から民間に移すことで削減できる
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 公平・公正である ⇒【理由↓】 これまでかかってきた経費、一部の地権者に偏っている状況は公平公正ではない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	事業計画では、すでにもぎ取り農園を行わなければならないことになっており、毎年度国に報告する実施状況報告の際にも指摘されている。しかし、ブルーベリーの生育状況が悪く入園料をとる状況ではなく、管理するだけになっている。今後の育成状況にもよるが、もぎ取り体験農園が可能になったときは、民間やNPO法人が地権者と相対で借地契約などを結び、ノウハウがない市の事業から民間事業とするべきである。公共の関与は必要であるが、ノウハウが少なく、市で観光農園を行うことは難しいので、農業に関わりノウハウと観光事業のノウハウを持つもの及び土地の所有者が組合などを設置して事業を行うことで向上する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可 ☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☒ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 成果向上(有効性④の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☒ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☒ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) (2) 改革改善案について ① 早期にもぎ取り園が出来るように専門家等に話を聞き、協力を得ながら育成を促進する。 ② 体験農業が可能になった場合、民間での事業として実現に結びつける。 ③ 土壌改善を進める。 ④ 過去の補助金の確認する。 ⑤ 委託業者との成果指標の定義を共有		(3) 改革・改善による方向性 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☒</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☒	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☒	☐	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① 現在市の事業として無償の用地提供となっているが、体験農園となると無償とは行かなくなる。 ② 営業ベースとして体験農園を行える者がいるかどうか不明。 ③ 宣伝を強化しないと観光客は増加しない。		(5) 事務事業優先度評価結果 <table><tr><td>成果優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr><tr><td>コスト削減優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr></table>		成果優先度評価結果	対象外	コスト削減優先度評価結果	対象外																	
成果優先度評価結果	対象外																							
コスト削減優先度評価結果	対象外																							